

イエスの敵たち

シリーズ～新イエス～

2025/6/15

父の日

イエスが出会った人たち

- 家族

- ヨセフ・マリア・兄弟

- 弟子たち

- シモン・アンデレ・ヤコブ・ヨハネ・フィリポ・ユダ…

- 付き従った女性たち

- 病人と関係者たち

- ほとんど名前は記録されていない

- 敵たち

- 律法学者・ファリサイ派・祭司長・長老・サドカイ派

- その他

イエスの敵たち

- 律法学者

- 「ラビ」と呼ばれた律法の専門家
- 会堂を中心に人々を教えていた

- ファリサイ派

- 律法学者に属するが、元々は過激派だった
- 「言い伝え」を重んじた

- 祭司長

- 「大祭司」とも呼ばれるユダヤ教の最高権力者

- サドカイ派

- 祭司の家系に連なる裕福な上流階級

イエスによる非難

- 律法学者にまさる義

- 「あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさっていなければ…」マタイ5:20

- 「偽善者」！

- 「律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたたち偽善者は不幸だ。白く塗った墓に似ているからだ。外側は美しく見えるが、内側は死者の骨やあらゆる汚れで満ちている。」マタイ23:27

- 主人（神）の息子を殺そうとしている

- 「そして、息子をつままえ、ぶどう園の外にほうり出して殺してしまった。」マタイ21:39

イエスとの議論

- イエスの権威について

- 罪を赦す権威・悪霊を追い出す権威

- 律法について

- 安息日・離婚・最も大切な掟

- 宗教習慣(言い伝え)について

- 断食・手洗い

- 罪人との関わり

- 罪人と食事を共にする

- 罣にかけようとする質問

- 税金問題・姦淫を裁く

イエスの対応

- 矛盾を突く

- ベルゼブル論争

- 逆質問

- 権威についての問答

- 旧約聖書を用いる

- 安息日論争・手洗い論争・復活問題

- 知恵による回答

- 税金問題・姦淫の現場で捕らえられた女

- 真理(常識)による反論

- 罪人との関わり・断食問答

イエスを殺す

- 公生涯の初期から殺そうと考える
 - イエスは彼らの計画を知っておられた
- イエスを殺すために一致団結？する
- イエスをゲツセマネで捕らえる
- 最高法院で裁判にかける
- ピラトに訴え、十字架につけさせる
 - 「しかし、祭司長たちや長老たちは、バラバを釈放して、イエスを死刑に処してもらうようにと群衆を説得した。」
(マタイ27:20)
- 十字架上のイエスを侮辱する

「敵」を利用したイエス

- 彼らの非難や質問を利用して、**真理**を語る
 - 律法の正しい理解
 - 「神の国」について
 - イエスがこの世に来られた目的
- イエスの**知恵**と**愛**を明らかにする
 - 最高の知恵者たちも全く歯が立たない！
 - 病む人や罪人の味方であることが明確になる
- **十字架で死ぬために**
 - 彼らの誤りを的確に非難し、怒りを煽る
 - 人類の罪を背負って十字架にかかる

イエス流「敵の愛し方」

- イエスは「敵を愛せ」と言われた

- 「『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。』（マタイ5:43-44）

- 間違いを厳しく指摘した

- 優しくするだけが愛じゃない！

- 常に彼らと向き合った

- 敵から逃げることなく、最後まで関わり続けた

- 右の頬を打たれたら左の頬を向ける

- 「するとピラトは、『あのようにお前に不利な証言をしているのに、聞こえないのか』と言った。それでも、どんな訴えにもお答えにならなかったなので、総督は非常に不思議に思った。』（マタイ27:13-14）

人々はその教えに非常に驚いた。
律法学者のようにではなく、
権威ある者としてお教えになった
からである。

マルコ福音書1章22節